

令和 3 年度シラバス (情報)

教科 (科目)	情報 (社会と情報)	単位数	2 単位	学年 (選択群)	3 学年
使用教科書	「最新社会と情報 新訂版」(実教出版)				
副教材等					

1 学習目標

コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理するための基礎的な知識と技能を修得します。
情報を主体的に活用しようとする態度を身に付けます。

2 指導の重点

- ① 情報を活用できる実践力の習得を目指す。
座学で内容の理解を深め、コンピュータ実習で確認する。
- ② 情報の科学的な理解を深める。
- ③ 情報社会に参画する態度を身に付けさせる。

3 年間指導計画

学期	月	単元名	教材	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
1 学 期	4月	情報社会と私たち	教科書	・情報社会 ・情報とメディア ・情報モラルと社会のルール	26	・課題ファイルの提出 ・USBの確認
	5月	情報機器とデジタル表現	(実習)	・情報機器の基本的な使い方 ・情報機器を利用するときの注意点 ・情報機器とデジタルワードを使った入力練習		
	6月					
	7月					表現と伝達
1 学期期末考査						
2 学 期	9月	表現と伝達	教科書 (実習)	・プレゼンテーション パワーポイントの使い方	28	・課題ファイルの提出
	10月	コミュニケーションとネットワーク	教科書	第1節 情報化が社会に及ぼす影響と課題 第2節 情報セキュリティの確保		・課題ファイルの提出 ・期末考査
	11月					
	12月	情報社会と問題解決	教科書	・情報システムと人間 ・問題解決 ・テスト対策		
	2 学期期末考査					
	1月	情報社会と問題解決	教科書	・情報発信		・課題ファイルの提出 ・評価表の提出

3 学 期	2 月	(実習)	学校案内の制作 ・学校案内の製作 企画・製作・リハサル・実施 ・各グループの発表 ・プレゼンテーションの評価	16
	3 月			
合計				70

計70時間 (50分授業)

4 課題・提出物等

- ・各单元ごとの課題プリントを提出する。
- ・コンピュータ実習の際には、必ずレポートや作品を期日・時間までに提出する。

5 評価規準と評価方法

次の4つの観点に基づき、学習内容のまとめり(定期考査までを学習のひとまとめり)ごとに下記のように評価を行い、学年末に5段階の評定として総括します。

- ① 関心・意欲・態度……コンピュータや情報通信ネットワークに関心を持ち、身近な課題として主体的に取り組んでいる。
- ② 思考・判断……様々なアプリケーションやコミュニケーションツールの特徴を把握し、処理の内容に応じ判断できる。
- ③ 技能・表現……情報技術を効果的に活用するための技能が身に付いたか、目的に応じて適切な表現ができる。
- ④ 知識・理解……コンピュータや情報通信ネットワークの基本的な仕組みを理解できる。

以上の観点を踏まえ、

- * 授業への取り組み(出席状況、授業態度、レポート、作品の提出など) 50%
- * 定期考査の成績 50%

の割合で総合評価する

定期考査(テスト)について

- ・教科書・課題プリントを利用し、各单元ごとのポイントを確認する。
- ・練習問題で繰り返し練習し、必ずコンピュータを操作して内容を確認する。

6 担当者からの一言

- ① 情報はこれからの情報化社会を生き抜いていくために必要不可欠な教科です。前向きな授業態度でのぞみ、積極的に課題などをチャレンジしてください。
- ② 授業中に問題点などがあれば、積極的に質問してください。自分ひとりでいつまでも悩んでいないで、早めに解決して進んでください。
- ③ 提出物は確実に提出してください。

※コンピュータ室の利用について

- ・コンピュータの環境・設定を絶対に変更しないでください。
- ・ソフトウェアのインストールは行わないでください。
- ・ホームページ上での掲示板への書き込みやメールの送受信は行わないでください。
- ・ホームページの閲覧は、高校生としての自覚を保って行ってください。